

## 山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司

平成29年  
仁叟寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受  
1/4~1/7 年始挨拶  
1/10 年賀寺例  
1/17 阪神淡路大震災23回忌  
2/3 大節分会  
2/15 釈尊涅槃会  
3/11 東日本大震災7回忌法要  
3/12 大般若会大施食会法要  
3月中旬 筆供養法要  
3/17~3/23 春季彼岸会  
4/8 釈尊降誕会(花祭り)  
5/12~5/16 現代名僧墨蹟展  
5/24~5/26 梅花全国大会  
6/22 第60回梅花県大会  
7/13~7/16 新暦盂蘭盆会  
京浜地区檀信徒棚経  
7/21 日航機事故33回忌法要  
7/31~8/1 第36回仁叟寺子供禅の集い  
8/10 中元寺例  
8/13~8/16 盂蘭盆会  
9/20~9/26 秋季彼岸会  
11/1~11/5 梅花授戒会  
11/20~11/23 宗務所県檀信徒研修旅行  
12/8 釈尊成道会  
12/10 歳暮寺例  
12/31 除夜会
- ※毎週水曜日 定例坐禅会  
※隔週水曜日 梅花講・華道教室  
※群馬県宗務所執務日 月・水・金曜日

## 大般若会・大施食会報告

↑ 講話をされる篠原歯科医院  
院長・小菅栄子先生

等々、各災害物故者供養も営ませていただきました。

法要に先立ちまして本年は、当寺檀家さんでもある高崎市中居町の篠原歯科医院院長、小菅栄子先生に「亡き人を帰す」という題にてご講話を賜りました。小菅先生の父である故篠原瑞男前院長は、本年三十三回忌となる上野村での日航機墜落事故で、歯型による遺体鑑定に携わりました。ほか群馬県警での鑑定にもご尽力され、表彰も多数受けており、父の背中をみて同医院を継がれた小菅先生は、更にその研究を東北大学等と連携し、精力的に活躍されております。毎年、父子で御巢鷹山に慰霊登山をされ、また東日本大震災でも歯型よりの身元確認作業に取り組みました先生のお話は、胸に染み入るものがありました。有難うございました。

また式典に於いて、新井徳衛氏より矢島正義氏へと総代長が、橋爪勝氏より向井敏昭氏へと総代人が交代となりました。新総代人各位には、引き続き宜しくお願い申し上げます。



## ↑ 多くの方々が本堂に集いました

東日本大震災七回忌の翌日である本年3月12日、当山に於いて恒例の大般若会、大施食会が多くの御寺院様ご随喜のもと、多数の檀信徒が集い、修行されました。大施食会では、檀信徒各家の先祖供養は勿論、併せて東日本大震災七回忌、日航機墜落事故三十三回忌、熊本地震一周忌、阪神淡路大震災二十三回忌

## 梅花流詠讚歌65回記念全国大会/60回記念県大会



**清興**  
三遊亭円楽 師匠  
独演会

■ 清興開場(一般) 13時  
開演 14時予定  
■ 清興のみ入場料 2,000円

主催 曹洞宗群馬県宗務所 高崎市下横町1-7  
☎027-315-4141 ☎027-315-4142

# 梅花流

# 第60回

# 群馬県奉詠大会

日時 平成29年 6月22日(木)

9時受付 9時30分開式 16時閉式予定

会場 桐生市民文化会館(シルクホール)  
桐生市織姫町2-15 ☎0277-4011500



↑金沢・大乘寺様にて導師を勤める住職  
←第60回記念群馬県梅花流奉詠大会ポスター

仁叟寺にも梅花講がありますが、本年は全国梅花流詠讚歌創立65周年、また群馬県に於いては創立60周年となる節目の年になります。全国大会は、去る5月23～26日に亘り、大本山永平寺様にての報恩献詠、サンドーム福井での第65回記念全国大会を開催。同大会では、住職が宗務所長として、全国大会は大型バス5台200名ほどの講員さん始めとする関係者を率い参加。大本山永平寺様では勅使門が開放、歌手南こうせつさんによる梅花流の新曲披露、金沢大乘寺様・高岡瑞龍寺様等宗門の北陸古刹を伺う有意義な研修も併せて行われました。

6月22日には桐生市民文化会館シルクホールに於いて、群馬県大会が修行されました。第60回となる記念大会では、住職と縁の深い三遊亭円楽師匠を清興講師としてお迎えし、800名ほどの講員、一般来場者が集い、盛会裏に無事圓成いたしました。

仁叟寺梅花講も新たに入講される方も増え、一級詠範である寺族渡辺恵津子が講師として月2回程の稽古を行っております。入講ご希望の方は、遠慮なく当山迄お問い合わせ下さい。

仁叟寺梅花講も新たに入講される方も増え、一級詠範である寺族渡辺恵津子が講師として月2回程の稽古を行っております。入講ご希望の方は、遠慮なく当山迄お問い合わせ下さい。

## 県青年会55周年記念「現代名僧墨蹟展」圓成



テープカットにて開会式典→  
✓宗務所長祝辞 ↓会場風景



群馬県曹洞宗青年会創立55周年を記念し、高崎シティギャラリーに於いて、「現代名僧墨蹟展」が5月12～16日に掛けて開催されました。地元の書道・華道・茶道関係各位の協力をいただき、会期中1,000名近い参観者が訪れました。

同展はチャリティ事業の一環で企画。収益は東日本大震災及び熊本地震被災地復興支援として県青年会より被災地へ寄贈されます。

## 自らを洲とする～福島県青年会主催復興祈願法要～

本年は、東日本大震災より丸六年。七回忌に当たる年です。

今なお復興に向け、頑張っております被災地の福島県に於きまして、曹洞宗福島県青年会が中心となり、七回忌法要と復興祈願法要を去る3月15日、福島県郡山市民文化センターにて勤められました。副住職も被災地支援活動よりの群馬県青年会等のご縁ご案内を頂戴し、法要と式典に随喜して参りました。



↑ 会場満員、七回忌法要の様子  
↓ 三遊亭圓楽師匠を囲んで



↑ 法要及び式典のポスター

「福島に笑顔を 明日へ向かって」というスローガンの下修行され、式典には人気テレビ番組の笑点でお馴染みの三遊亭圓楽師匠の落語、母心の漫才が催され、被災地に笑いを届けておりました。会場はホール一杯となる満員御礼で賑わいました。

なお、三遊亭圓楽師匠は、曹洞宗の僧侶として前橋市釋迦尊寺様にて出家得度され、また渡辺啓司仁叟寺住職が仲人もつとめましたご縁もございます。

## 三十世寺族・故渡辺テル一周忌法要



↑ 導師を勤めるご本寺雙林寺住職石附老師 焼香を行う当山住職及び東堂

早いもので、一年経ちました。去る6月4日、仁叟寺本堂にて、ご本寺雙林寺住職石附正賢老師ご導師のもと、三十世寺族・故渡辺テル（隆室常照禅尼位、号・晃苑）の一周忌法要が、ご寺院様、親族始め檀家総代様、書道会の皆様等ご縁のある皆様方のご列席いただき、勤められました。

故人は、当山にて先々代渡辺石橋老師の末娘として大正時代に生誕。永年住職を支え、当山護持に尽力されました。また高崎書道会で理事として活躍。仁叟寺にて書道教室「雅道会」を主宰し、50年近くに亘り書道を通じた教育活動に尽瘁されました。

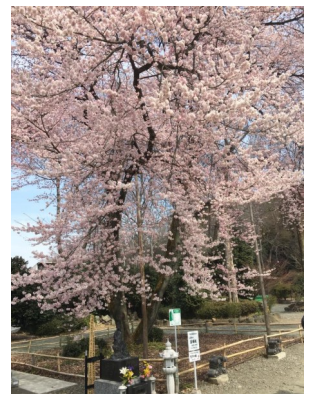
昨年の通夜葬儀から始まり、大練忌四十九日納骨、新盆、初彼岸会、百箇日と続き本年一周忌も無事修行出来ました。また、東堂も94歳となりますが、元気に晴耕雨読の生活をしております。檀信徒始め多くの縁ある皆様方にお参りお焼香賜り、志を頂戴いたしましたこと、この場を借りて、厚く御礼申し上げます。合掌

# 風雪に耐え、今年も満開、仁叟寺五輪桜



↑多くの花見客が集いました  
←上毛新聞に掲載された記事  
(4月6日付) 満開の五輪桜

本年は、地元上毛新聞記事に掲載され、用意した冊子700部が全てなくなる程、五輪桜花見参拝客で盛況でした。ボランティア賜りました総代さん矢島さん、多謝。



## 授戒会、檀信徒研修旅行（台湾）参加者募集中

県宗務所梅花部60周年及び県青年会創立55周年を記念し、県宗務所主催で桐生市大雄院様に於いて「授戒会」が修行されます。当県では5年前に県青年会創立50周年を記念し、大本山總持寺貫首江川辰三禅師を戒師にお迎えし、仁叟寺に開催された以来の大法要です。今回は県宗務所長である当山住職を戒師に、11月1～5日に掛けて行われます。

また恒例の県宗務所檀信徒研修旅行では、今秋11月頃に曹洞宗と縁がある台湾へ、初の海外研修となります寺院参拝研修旅行を予定しております。いずれも参加をご希望される方は、当山までお問い合わせ下さい。

→授戒会ポスター



## 行雲流水（編集後記）

編集人 副住職 渡辺龍道

早いもので祖母の一周忌も終わり、今年も半分以上が過ぎました。光陰矢の如しという言葉は、むべなるかなといった処です。

さて、平成26年冬に仁叟寺住職が宗務所長を拝命し、残すところ一年半。本年は特に多くの公務及び行事が目白押しであります。

当方、自坊龍源寺の本堂再建は勿論、青年会長は退任いたしました。前会長として周年事業の圓成、また地域社協運営委員や社会福祉法人理事も引続き拝命いたしました。出来る事を、出来る人が、出来る時に行じさせていただきたくよう更に精進をいたします。合掌（龍）